

〔 横浜市大倉山記念館 〕

令和 5 年度業務報告及び収支決算

〔 日比谷花壇・西田装美共同事業体 〕

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業
 を示します。

※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施 設 名	横浜市大倉山記念館
所 在 地	横浜市港北区大倉山二丁目 10 番 1 号 大倉山公園内
構 造 ・ 規 模	鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階、塔屋 1 階
敷 地 ・ 延 床 面 積	延床面積 1,877.23 m ² (大倉山記念館部分) 管理区域面積：4,073 m ²
開 館 日	昭和 59 年 10 月(昭和 7 年竣工)

2 指定管理者

団 体 名	日比谷花壇・西田装美共同事業体
所 在 地	東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 1 号
代 表 者	代表者氏名 株式会社日比谷花壇 代表取締役 宮島 浩彰
設 立 年 月 日	昭和 25 年 12 月 6 日
指 定 期 間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現 指 定 管 理 者 の 管 理 運 営 開 始 日	令和 4 年 4 月 1 日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

【運営理念】

大倉山記念館の「文化芸術活動の拠点機能」を最大限発揮して、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞や参画機会を提供することで、市民の主体的な活動の促進・多様な文化芸術活動によるコミュニティの形成につなげ、「自然と文化とともに暮らす街 大倉山」を実現させるとともに、市の「文化芸術創造都市のまちづくり」の推進に貢献します。

【基本方針】

方針 1 全スタッフがコンシェルジュとなり、利用者目線に立った、公平で統一された高品質な接客サービスを実施します。

- ・代表団体は設立 70 周年、全国約 200 店舗を展開するフラワーショップとしての実績と経験から育んだ接客のプロとして、利用者の気持ちに寄り添い、ホスピタリティーあふれるサービスを実践いたします。
- ・「利用者＝お客様」と考え、独自の接客マニュアルや研修制度を活用し統一されたサービスを提供いたします。
- ・施設はもちろん、地域の情報も把握し、利用者や市民が求める情報をお伝えできる「まちのコンシェルジュ」となります。
- ・正面入り口に季節の生花を使った装花、ロビーやトイレなどに季節の花を飾り、癒しとくつろぎの空間を演出します。

方針 2 私たち自ら地域に出ていき、文化芸術を通じて、地域課題の解決や地域の安全・安心に協働して取り組みます。

- ・地域の一員として、関係団体や施設などと連携、情報共有を行い、地域課題や要望の把握に努めます。
- ・文化芸術活動を通じて協働し、私たちの意資源とノウハウも活かして地域の課題解決や要望の実現につながる管理運営を行います。
- ・新規採用するスタッフは、可能な限り横浜市、港北区在住の方とし、また高齢者や、女性も活躍できる環境を整えます。
- ・地域住民や近隣施設と連携した地域一体防災訓練や防犯訓練を実施し、地域の安全安心拠点としての役割を担います。

方針 3 既存の事業は継続・発展を基本に、利用者とともにより良い活動を目指していきます。

- ・現在行っている協働は継続・発展を基本とし、関係者のご意見も伺いながら、より良い発展への形を模索しています。
- ・当施設の利用者の高齢化が進んでおり、若い世代が新たに活動に加わることが求められるなど、地域の実情をとらえ、課題の解決につながるような協働を推進します。
- ・私たちが持つ地域協働やボランティア育成のノウハウを活かし、施設や地域の財産を活かした、魅力あるあらたな協働を積極的に実施し、一緒に推進する仲間を作ります。

方針 4 市民の自主・自発的な活動を尊重し、市民と私たちが両輪となり、活動を支援します。

- ・文化芸術振興基本法基本定方針においても規定されている「活動主体の自発性と自主性が尊重されるべき」という項目に基づき、市民の自主・自発的な活動を尊重し、協働して市民主体による文化の創造、町づくりの推進に寄与する管理運営を実践します。
- ・施設を利用いただいている団体、サークルなどの活動を館内外に周知し、新規会員募集や活動の意活動発展を支援します。
- ・当館が主導となり新しい文芸活動団体を立ち上げ、活動を支援します。最終的には、該当団体が自主自発的に活動し、自立した団体として広く活動できるよう育成します。

- 方針 5** 世代や社会属性を超えたあらゆる方々に文化芸術に触れる機会を提供します。
- ・あらゆる方に公平に接することはもちろん、多様な情報発信手段の活用、出張講座などのアウトリーチ活動、無料講座の企画などによって社会属性を超えてあらゆる方々に文化芸術活動に関わる機会を提供します。
 - ・施設開放日を設け、当館を知っていただき、気軽に参加できる文化芸術活動を行います。新しい趣味や知的向上につながり、また、地域を知る機会を提供します。
- 方針 6** 平等公平な対応・人権の尊重・積極的な情報の公開・発信を原則とします。
- ・横浜市の指定管理者として行政の代行者であるという自覚を持ち、各種法令を遵守するとともに公平公正に業務を行います。
 - ・責任者の配置と施設スタッフへの教育、利用者目線での接客・接遇、差別的な取り扱いの排除と誰にでもわかりやすい案内やコンプライアンスの遵守などを徹底します。
- 方針 7** S D G s の観点を持ち、自然や環境に配慮した、維持管理・運営を徹底します。
- ・横浜市が定める環境管理計画に従い行動し、ISO14001 環境マネジメントシステムに連動します。さらに横浜市の取り組みに迅速に対応し、区内の施設として必要な役割を果たします。
 - ・植栽の維持管理作業で発生する選定枝や落ち葉などは、園内で堆肥化をすすめ、花壇や樹木の育成に活用することを検討します。
 - ・維持管理・運営の目標を策定し環境活動に取り組みます、設定した目標は年度毎に結果を検証し、積極的に改善を図ることで環境活動の取り組みレベルを向上させます。
 - ・自然や環境への配慮・共生共存を意識した維持管理運営を意識し、実践することで、横浜市 S D G s 認証制度” Y－S D G s “の認証を目指します。
- 方針 8** 私たちが培ってきたノウハウと実績、ネットワークを最大限生かし、地域住民や施設と一体となり、強い愛情と熱意を持って大倉山記念館と地域の発展に貢献します。
- ・私たちの運営する指定管理施設などにおける地域協働の実績や、70 年にわたる接客業の経験に基づくお客様目線のおもてなしを当施設の運営に投下します
 - ・全国約 20 店舗を展開する拠点や月間 150 万 P V（ページビュー）の代表団体の WEB サイトなどの広域ネットワーク、国内外の様々な展覧会への出展実績や新しい文化を日本に根付かせてきた経験を最大限活用します。
 - ・重要文化財をはじめとした歴史的建造物の管理運営実績と数々の表彰に裏打ちされた高品質な維持管理技術といった、私たちの持つ、豊富なノウハウを最大限に活かし、地域住民・市民や施設関係団体とともに、地域への強い愛情と熱意をもって、大倉山記念館と地域の発展に貢献する運営を行います。

（２）令和５年度の業務の方針の振り返り

ア 全体について

本年も新型コロナウイルスによる影響を鑑み、「横浜ガイドライン」を遵守しながら、可能な限り利用者が利用しやすい施設運営をしました。

令和５年度については、新型コロナウイルス感染症に伴い、利用者への要望により間仕切りのフィルムシートの無料貸出しを実施し、利用者の当日ご利用者の代表者氏名・連絡先の書面提出（１ヶ月後シユレッター破棄）や入り口２ヶ所の消毒液設置を継続しました。

イ 使命１ 文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる

市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し、関係者ともに策定する利用ルールを徹底し、どなたにもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実行しました。

利用に関しての各集会室用の案内シートを部屋の鍵と一緒に都度渡すなど、利用が初めての方には上記に加えて『初めてご利用される方へ』の案内書面を受付時に渡し、利用終了後の原状復帰等の説明を実施しました。

ウ 使命２ 文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する

年間行われている共催事業において、前年アンケートよりの要望を確認し、今年度事業に結び付けるようにしました。『花音コンサート』や『寄り道コンサート』等の自主事業の機会を提供するとともに、こどもを対象にした事業として、『プラレール』、『アートジャム』等を協力事業に参加機会を提供しました。

エ 使命３ 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

これまでの協働や活動を尊重しながら、協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、大倉山公園愛護会へのボランティア活動人員の世代交代に伴う施策として Line の活用をし、自治会・町内会の月例会議出席に伴う、連携、情報共有、及び記念館での催事案内等、新規利用者開拓としてホームページ上の情報掲載をこまめに更新しました。

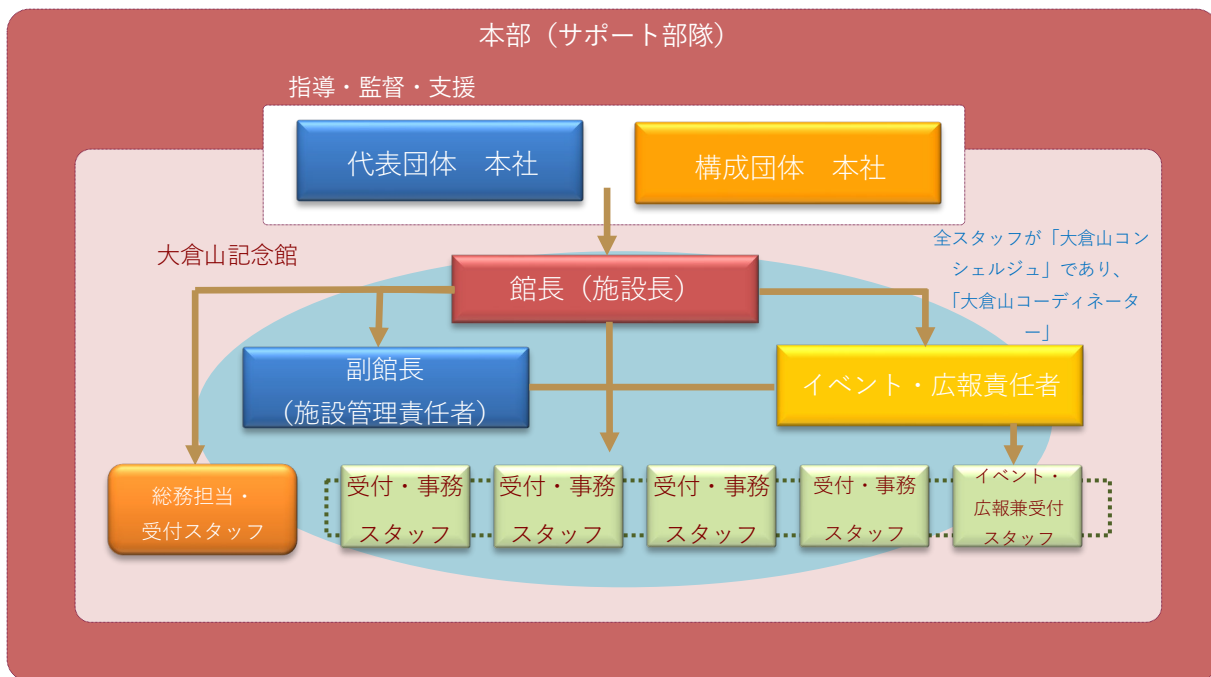
オ 使命４ 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

毎月代表企業と構成企業による事前モニタリングにて当月のモニタリングに向けてのシミュレーションを図り、問題点の確認を行いました。また、画像添付して詳細が説明出来るよう、前月に発生した事件事故への報告の確認をしました。

カ 使命５ 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

利用者イベントにおいては、新型コロナウイルス感染症関連発生の場合、手指消毒、マスク着用等を確認し、利用者代表の連絡先記載を徹底しました。また、大倉山記念館の事務所スタッフについては、マスク着用、事務所内フィルムを設置しました。

4 運営組織の構造、人員配置



職名	雇用形態	主な役割	勤務時間	休日設定
館長 1名 現施設管理者・館長	正社員	・施設全体の管理運営 ・事業計画・予算計画作成 ・市対応、住民対応・地域連携促進	8時間/日	週2日
副館長 1名 現施設管理責任者 防火管理者（甲種）取得者 第二種電気工事士 危険物取扱者（乙種4種）	正社員	・館長代理 ・施設維持管理責任者 ・今期の当施設管理経験を生かした修繕計画立案	8時間/日	週2日
イベント・広報責任者 1名 イベント企画 広報業務経験者	正社員	・自主、共催等の事業立案及び実施 ・地域連携サポート	8時間/日	週2日
イベント広報担当者兼 受付スタッフ 1名	契約社員	・自主・共催事業運営補佐 ・利用団体のサポート・受付 ・広報作成・活用補佐	8時間/日	週2日
受付スタッフ 4名 （内2名はシェアードスタッフとして総務・庶務の担当）	パート タイマー	・利用団体受付 ・施設案内 ・自主、共催事業サポート ・行政報告・会計・決済・庶務補佐	5~8時間/日	週3~5日（事務 収支担当は週5日）
第一種電気工事士	正社員	電気設備全般の月次点検及び不具合時の一次対応	随時（月1回以上）	
電気主任技術者 （関東電気保守協会）	外部委託	・自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保守監督業務及び保守、法令点検	隔月	

館長1名を中心に副館長とイベント広報専任スタッフ各1名を配置し、施設保全・利用促進を両立する管理運営を実現します。

第3期の施設管理責任者とイベント企画運営・広報業務責任者を担当スタッフとして配置し、経験に基づく先を見越した修繕・施設管理と市民・利用者の立場に立ったイベントを遂行します。

管理経験を活かし、全スタッフが施設や地域の顔としてお客さまをおもてなしする「大倉山コンシェルジュ」であり、文化芸術の知識を有する「大倉山コーディネーター」であるという高い意識を持ち、お客さまを出迎え、業務を遂行します。

施設の特徴と接客待遇をしっかりと習得したスタッフによる研修マニュアルの策定と計画的な研修を遂行し人材開発・スキルの平準化を進め、誰もが、高い接客レベルで対応できるようにします。

5 令和5年度の業務の取組の振り返り

(1) 文化事業

施設の特性を活かした事業や地域と一体となり事業を展開し、文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供及び地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進を行いました。

具体的には、『プリザーブドフラワー教室』や生花を多用した『花音コンサート』の鑑賞機会を創出しました。

また、年間に行われる共催事業への参画案内及び公募を各実行委員会との連携を行いました。

(2) 施設運営

これまでの協働や活動を尊重しながら、協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、時代や、環境に合わせた新しい協働を展開し、文化芸術を媒介として地域の力を結びつける、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成につなげました。

具体的には、『横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業』においては各小学校へ出張するコーディネーターとともにニーズを掌握し、要望に答えました。

また、古典芸能である『落語会』を新春だけでなく、夏場に怪談落語として実施しました。

(3) 施設管理

当施設の貴重性・重要性を理解し常駐する維持管理担当者による、きめ細やかな予防保全策を講じることで、利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行いました。

利用者に対して、大倉山記念館は横浜市の有形文化財であることを都度説明し、集会室、ホール、ギャラリーの利用においては、充分配慮頂くように説明を徹底しました。

水回り、電気配線等、経年劣化が多いところに関しては、早めの対応が出来る事前チェックをしました。

(4) 収支

効率的・効果的な経費削減策を講じ、高品質のサービス提供と適正なコスト運用の両立を図るとともに、魅力的な事業実施、助成金や補助金の取得などにより、指定管理料のみに依存しない収入構造を目指しました。

一般の利用料金ではなく、自主事業の撮影売り上げについて、これまでは、ドラマ・映画・雑誌スチール撮影が主でしたが、昨今のはやりの一つになっている『フォトウエディング』の一つである『前撮り撮影』に注力しました。自主事業においても、評判の良い『プリザーブドフラワー教室』の1日2回等の回数増により収入を増やしました。

『横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業』の小学校における事業回数も同様に増やしました。

(5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

PDCAを確実に運用しながら、日報・月報 業務計画書及び業務報告書の作成・管理をし、毎月の業務評価（モニタリング）の場で報告・共有しました。

また、毎月のモニタリング前に、事前モニタリングを実施し、代表・構成各企業により確認を実施しました。

(6) その他

施設賠償責任保険への加入・関係法令などの遵守・市及び関係機関との連絡調整・近隣対策に力を入れ、安心安全且つ便利に使用できる施設を目指しました。

保険については年度初めに毎年加入しています。

今年度協定を締結した港北区役所との『帰宅困難者』への施設開設について、関係機関との連携を図りました。

6 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	総来場者数	年間施設利用人数	85,383人	120,000人	108,178人	—	—	120,000人	—
		オープンデイ開催時人数/日	550人	1,300人	1,595人	—	—	1,600人	—
2	貸室利用率	ホール	92%	91%	92%	—	—	94%	—
		ギャラリー	80%	97%	71%	—	—	100%	—
		第1集会室	84%	82%	83%	—	—	85%	—
		第2集会室	52%	70%	68%	—	—	73%	—
		第3集会室	47%	67%	66%	—	—	70%	—
		第4集会室	81%	76%	78%	—	—	79%	—
		第5集会室	79%	81%	82%	—	—	84%	—
		第6集会室	69%	74%	70%	—	—	77%	—
		第7集会室	74%	80%	78%	—	—	83%	—
		第8集会室	37%	63%	65%	—	—	66%	—
		第9集会室	48%	73%	66%	—	—	76%	—
		第10集会室	92%	88%	90%	—	—	91%	—
		年間平均	69%	81%	76%	—	—	82%	—
3★	年間新規導入備品数		1件	2件	2件	—	—	2件	—
4★	年間新規備品目標稼働数		10件	30件	26件	—	—	80件	—
5★	アーティストバンクへの年間総人数登録数		0名	10名	8名	—	—	40名	—
6★	アーティストバンクからの年間アーティスト稼働人数		0人	5名	8名	—	—	20名	—
7★	大倉山アートマップの更新頻度		1回	1回	1回	—	—	2回	—
8★	年間見学会開催数(塔屋を含めたツアー)		2回	12回	16回	—	—	12回	—
9★	見学会開催後アンケートによる満足度調査(満足度)		80%	90%	92%	—	—	90%	—
10★	大倉山ご縁マールシェ	開催数(土日開催)	未実施	年12回	年8回	—	—	年12回	—

		来客数（/日）	—	30 名	35 名	—	—	30 名	—
		満足度	—	90%	90%	—	—	90%	—
11 ★	大倉山ご縁カフェ	開催数（土日開催）	未実施	年 12 回	年 8 回	—	—	年 24 回	—
		来客数	—	30 名/日	35 名/日	—	—	30 名/日	—
		満足度	—	90%	90%	—	—	90%	—
12 ★	陽だまりカフェ	開催数	未実施	年 12 回	年 8 回		—	年 12 回	—
		来客数	—	10 名/日	35 名/日	—	—	10 名/日	—
		満足度	—	80%	90%	—	—	90%	—
11 ★	全施設の印象について（満足度）		80%	90%	91%	—	—	95%	—
12 ★	共有スペースの印象について（満足度）		80%	80%	82%	—	—	80%	—
13 ★	備品貸出、使い勝手について（満足度）		80%	80%	81%	—	—	80%	—
14 ★	スタッフの対応について（満足度）		90%	95%	96%	—	—	95%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	利用状況の把握を致しました
		R 5 達成指標	アンケートでの各項目の満足度を達成している（定量指標 11 から 14 による）
		R 5 実績	『ご利用について何か要望、ご不満はありますか』の問いに対して『無い』、『特に無い』が 82% 頂いているので目標達成とした。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケートでの各項目の満足度を達成（定量指標通番 11 から通番 14 による）し、第 3 期に向けて更なる向上に努め、利用者の要望に応えるべく具体的な必要としての備品等をアンケートにて実施
		R 8 実績	—
2 ★	年度末アンケート調査にて	R 4 実績	調査確認を行った
		R 5 達成指標	利用者の要望に対応できている。（満足度 80% を目標とする。）
		R 5 実績	82% ・ 目標達成、具体的な内容としてはホールにおける『ステージ

	備品に対する満足度を調査		フラワーが生花のスタンド花の形で金額が少額で済んで良かった。 (¥2,000) 』『ホールでピアノを終日(9:00~22:00)まで借りたのに1コマの¥3,000で済んで良心的であった。(複数回答有り)等
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者の要望に対応できている。(満足度80%を目標とする。)
		R 8 実績	—
3 ★	館内掲示板にてアーティストの募集を実施する	R 4 実績	募集実施した
		R 5 達成指標	開館中は随時掲示する。
		R 5 実績	掲示継続中
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	応募頂いたアーティストを自主事業にて出演頂くように交渉。
		R 8 実績	—
4 ★	SNSを活用しアーティストの募集を実施する	R 4 実績	募集実施を実施した
		R 5 達成指標	3か月に1回を目標として募集する。
		R 5 実績	募集継続(四半期に1回)
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	3か月に1回を目標として募集する。
		R 8 実績	—
5 ★	積極的に施設の見学に対応する	R 4 実績	ホームページにおいて見学に関しての案内を掲載
		R 5 達成指標	開館中は随時対応する。
		R 5 実績	ホームページ・館内掲示
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	精神文化研究所様にも協力頂き、事業の多くなる週末ではなく、平日の来館促進につなげる
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し関係者とともに作成する利用ルール of 徹底でどなたでもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実行します。

(2) 使命2 文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通 番	項 目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1 ★	大倉山なるほど 物語	来館数	210 名	180 名	195 名	—	—	180 名	—
		満足度	—	80%	82%	—	—	90%	—
2 ★	こども記念館探 検	来館数	未実施	50 名	65 名	—	—	100 名	—
		満足度	—	80%	82%	—	—	90%	—
3 ★	職場体験	来館数	未実施	10 名	15 名	—	—	10 名	—
		満足度	—	90%	91%	—	—	90%	—
4 ★	NPO 法人街カフェ大倉山ミエ ル 8 月ギャラリーにて親子の為 の【アートジャム】イベント開 催		1 回	1 回	2 回	—	—	1 回	—
5 ★	港北区区民活動支援センター 2 月オープンデイでの港北区 内【まちの先生】紹介		1 回	1 回	1 回	—	—	1 回	—
6 ★	横浜ベビーHIP HOP スタジオ 母と子の為のダンスワークシ ョップ、地域活性イベント協 力		未実施	1 回	2 回	—	—	1 回	—
7 ★	特定非営利活動法人 ST スポッ ト横浜 プラットフォーム事業におけ る地域小学校へのアーティスト 派遣		3 件	3 件	5 件	—	—	3 件	—
8	建築物や地域の歴史・魅力を 発信する事業数		4 件	20 件	6 件	—	—	25 件	—
9	館主催事業数		23 件	100 件	45 件	—	—	120 件	—
10 ★	フラワーアレン ジメント教室 (年 6 回)	来館数	98 名	180 名 6 回	198 名 9 回	—	—	180 名 6 回	—
		満足度	95%	90%	96%	—	—	90%	—
11 ★	花音コンサート (年 4 回)	来館数	225 名	160 名 /回	245 名	—	—	320 名 /回	—
		満足度	90%	90%	92%	—	—	90%	—
12	花育教室	来館数	30 名	40 名/	32 名	—	—	40 名/	—

★	(年4回)			回				回	
		満足度	80%	90%	85%	—	—	90%	—
13	オープンギャラ	来館数	250名	300名	335名	—	—	300名	—
★	リー	満足度	80%	90%	90%	—	—	90%	—
14	オープンデイ	来館数	320名	300名	340名	—	—	400名	—
★		満足度	90%	90%	93%	—	—	95%	—
15	港北区民交響楽	来館数	52名	60名	62名	—	—	60名	—
★	団コンサート	満足度	85%	90%	90%	—	—	90%	—
16	今昔建築サロン	来館数	40名	40名	41名	—	—	40名	—
★		満足度	75%	90%	91%	—	—	90%	—
17	大倉山新春寄席	来館数	55名	40名	59名	—	—	60名	—
★		満足度	80%	80%	82%	—	—	85%	—
18	高校生ギャラリー	来館数	未実施	500名	524名	—	—	500名	—
★	ー&ミュージックフェスタ	満足度	—	90%	91%	—	—	90%	—
19	オープンデイ	来館数	550名	1,200名	924名	—	—	1,200名	—
★	～おしえてまちの先生PR展～	満足度	85%	90%	88%	—	—	90%	—
20	大倉山なるほど	来館数	125名	180名	195名	—	—	180名	—
★	物語	満足度	90%	80%	82%	—	—	90%	—
21	こども記念館探検	来館数	未実施	50名	65名	—	—	100名	—
★		満足度	—	80%	82%	—	—	90%	—
22	職業体験	来館数	12名	10名	15名	—	—	10名	—
★		満足度	95%	90%	91%	—	—	90%	—
23	広報よこはま		12件	12件/年	12件	—	—	12件/年	—
★	港北区版								
24	タウンニュース		2件	10件/年	4件	—	—	10件/年	—
★									
25	えがお		12件	12件/年	12件	—	—	12件/年	—
★									
26	Facebook、Instagram、X		115件	100件/年	186件/年	—	—	100件/年	—
★									

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績		
1	各事業終了毎にアンケート	R4実績	32回/年	
		R5達成指標	40回/年	
		R5実績	48回/年	

	を集計	R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	40 回/年
		R 8 実績	—
2	アンケートによる満足度調査	R 4 実績	平均 84%でした
		R 5 達成指標	80%以上
		R 5 実績	82% ・利用金額が安いのはありがたい。・季節感を花で感じて満足である。・スタッフの方が親切で優しかった。等
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	80%以上
		R 8 実績	—
3 ★	アンケート回収率	R 4 実績	70%
		R 5 達成指標	50%以上
		R 5 実績	72%
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	50%以上
		R 8 実績	—
4 ★	アンケート結果による新規 SNS 媒体	R 4 実績	0 社
		R 5 達成指標	5 社/年
		R 5 実績	0 社。昨年に続き 0 件であったが、次年度早々に Instagram 情報を開設するので、ギャラリー利用、及びウエディング前撮り各社に SNS 告知を行い新規媒体獲得していく。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	10 社/年
		R 8 実績	—
5 ★	他事業への関心調査	R 4 実績	本年度は無し
		R 5 達成指標	自主イベントの再考
		R 5 実績	子供向けイベント実施（プラレール） 大倉山記念館におけるこども向けのイベント増を考えたとき大倉山の立地上、東急電鉄を坂の所から見ている親子連れが多く、そこから、（プラレール）の実施を思い付き、ギャラリーの周回が合致し、ご利用に繋がった。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—

		R 8 達成指標	自主イベントの再考
		R 8 実績	—

ウ 使命 2 を達成するために重点的に取り組む事項

地域に密着した文化芸術活動の拠点として、「歴史・文化・芸術」をテーマに、体験や交流による地域文化とコミュニティの活性化・発展に寄与し、愛され続ける「施設・地域・町づくり」を実現し、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する。

(3) 使命3 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1 ★	港北区役所地域振興課と連携し地域の安全マップを作成	1 回 実施	1 回/年 更新	1 回	—	—	2 回/年 更新	—
2 ★	港北警察署と連携し、正面入口に防犯メールの内容を掲示し、地域の防犯対策に寄与します。	実施	メールに連絡が入り次第掲示版にて更新	防犯メール掲示	—	—	メールに連絡が入り次第掲示版にて更新	—
3 ★	港北消防署と連携し、情報提供コーナーを開設、文化財に対する保全意識の向上、地域の市民共催団体関係者と実施している救命訓練等の状況をお知らせし、安心して施設を利用できるよう努めます。	2 回 実施	2 回/年 更新	館内掲示板の活用、訓練 2 回実施	—	—	2 回/年 更新	—
4 ★	(公益財団法人) 大倉精神文化研究所 ・創立 90 周年イベント開催 (大倉邦彦とタゴール) ・撮影実績パンフレット Vol. 2, 3 ・図書館 PR 協力 (本についての座談会や紹介) ・紙芝居レンタル ・3 階回廊を活用した常設パネル展示	2 回 実施	年 2 件	実施	—	—	共催事業において精神文化研究所様に参加頂き年 4 回実施	—
5 ★	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール ・障がい者向けのフラワーアレンジメント出張事業 ・ギャラリーにてアート展示会 ・大倉山パラアートフェスティバルの開催	未実施	5 件	先様より保留 ※	—	—	5 件	—
6 ★	シンコースポーツ・サンワックス	2 回 実施	5 件	6 件	—	—	5 件	—

	・フラワーアレンジメント出張事業 ・レンタル装花、館内装花 ・共催事業開催時のイベント協力 ・パンフレット等配架協力								
7 ★	鶴見川流域ネットワークキング ・移動水族館の誘致 ・パンフレット等配架協力		1回 実施	2件	2件	－	－	2件	－
8 ★	NPO 法人街カフェ大倉山ミエル ・夏休みの期間、子どものためのアートジャムフェスタを開催		1回 実施	1件	2件	－	－	1件	－
9 ★	港北区区民活動支援センター 港北区内のまちな先生派遣としてオープンデイに事業協力		1回 実施	1件	1件	－	－	1件	－
10 ★	大倉山講演会	来館数	30名	各40名	42名	－	－	各70名	－
		満足度	70%	80%	81%	－	－	90%	－
11 ★	大倉山ジョイフルコンサート	来館数	未実施	各40名	－	－	－	各70名	－
		満足度	－	90%	－	－	－	90%	－
12 ★	大倉山こどもフェスティバル	来館数	400名	1,000名	1,150名	－	－	1,500名	－
		満足度	90%	90%	92%	－	－	90%	－
13 ★	大倉山秋の芸術祭	来館数	4,500名	4,000名	4,150名	－	－	5,000名	－
		満足度	85%	80%	82%	－	－	90%	－
14 ★	小さな丘のメリークリスマス	来館数	1,100名	1,000名	1,082名	－	－	1,500名	－
		満足度	90%	90%	92%	－	－	90%	－
15 ★	のんびるフェスタ	来館数	未実施	500名	520名	－	－	500名	－
		満足度	－	80%	85%	－	－	80%	－
16 ★	港北美術展	来館数	未実施	800名	846名	－	－	800名	－
		満足度	－	80%	82%	－	－	80%	－
17 ★	大倉山ドキュメンタリー映画祭	来館数	550名	300名	596名	－	－	300名	－
		満足度	85%	80%	83%	－	－	80%	－

※通番5について、保留になってしまった事由として、先様より手先が上手く使えない入居者が多い為、事業を行う上で逆に苛ついてしまう恐れがあるという事と、コロナ禍の為、通常施設よりも規定を厳しく

している為、今年度は見送ってもらいたいとの事でした。また、次年度においてはこちらが作成したものを展示させて頂くような方向も考慮願いたいとのお話を頂きましたので、そちらの方向で進めていきます。

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1 ★	各施設へ期待する事へのヒアリング（事前打ち合わせ）	R 4 実績	実施しました
		R 5 達成 指標	40 回/年 要望として簡易的な食べ物の提供
		R 5 実績	42 回/年－ 有料公演においても金額は室料のみ倍額であり。有料備品は通常料金で対応している。
		R 6 実績	－
		R 7 実績	－
		R 8 達成 指標	50 回/年 週末を中心としたキッチンカー等の配置
		R 8 実績	－
2 ★	各施設へ協働により当初の問題が解決したかのヒアリングアンケート調査：満足度）	R 4 実績	協議しました
		R 5 達成 指標	80%以上 大型共催事業にて飲食のひとつであるキッチンカーのイベント時に展開模索
		R 5 実績	82%－ 大倉山記念館は音出しできる部屋と出来ない部屋があり、且つ音出しできる部屋も、『音量基準』があることを認識して頂けた。各集会室は防音設備は無い旨、ご利用者様同士のご理解を促す
		R 6 実績	－
		R 7 実績	－
		R 8 達成 指標	90%以上 ロビーにおける臨時出店の可能性を模索
		R 8	－

		実績	
3 ★	各施設へ問題点解決へ期待する事のヒアリング(反省会実施)	R 4 実績	共催事業者（秋の芸術祭、こどもフェスタ、ドキュメンタリー映画祭）にヒアリングし、ロビーにての食べ物販売を許可してもらいたいとの要望を伺う
		R 5 達成 指標	20 回/年 コロナ禍の終息により食品衛生許可証を持参確認し、承認していく (横浜市要確認)
		R 5 実績	4 回
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成 指標	25 回/年 共催事業以外の大型イベント利用者に同様の案内励行
		R 8 実績	—
4	イベント開催への感想(アンケート調査：満足度)	R 4 実績	アンケート実施により、利用者の要望を聞くことが出来た
		R 5 達成 指標	80%以上 前年の要望によりイベント時における自転車(駐輪場)の置き場を事前に説明（北部公園敷地にて一時停車）左記は週末の為、事前に北部公園に承認頂く
		R 5 実績	83% どのイベントにおいても満足感を得ているようであるが、音楽だけにとらわれるのではなく、幅広い文化・芸術項目イベントを行ってもらいたいとの要望を頂けている。それを次年度以降の新規事業としていきたい。（特にこども対象のイベント）
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成 指標	90%以上 イベント開催にその都度新たな要望を叶えるべく従事していく
		R 8 実績	—
5	イベント開催にお	R 4	平均 350 名

	ける賑わいの創出 (イベント参加人数)	実績	文化的イベントも音楽を中心として行って、にぎわいを創出
		R 5 達成 指標	定員の 8 割以上 音楽コンサート系も継続するが、こどもを中心としたイベントや、落語のような古典的なイベントも積極的に勧める
		R 5 実績	定員の 82%
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成 指標	定員の 8 割以上 上記イベントを行うとともにキッチンカーが必ず出店できる事を目標として賑わいの創出に努める
		R 8 実績	—
6	アンケート調査によるターゲット層への反響(全体の参加人数に占める割合)	R 4 実績	80% 年代別、お住まい(地域)の情報にイベントとの齟齬が無かったかの確認を行った
		R 5 達成 指標	過半数 イベントを行うにあたり、こちらの主旨が問題なかったかの確認において、アンケート項目を簡単に且つ記載いただける工夫を行う
		R 5 実績	85% ターゲット層は 60 代に設定(全体シェアの 60%) 参加費は出来るだけ安価が第一、それ以上の年代も同様、今後においては事業の多様化による若い世代の芸術分野事業開拓も考慮していく。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成 指標	7 割以上 特にこども対象としたイベントにおいては、自転車及びベビーカーの置き場も勘案し事前告知を行えるよう努める
		R 8 実績	—

ウ 使命 3 を達成するために重点的に取り組む事項

協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、時代や環境に合わせた新しい協働を展開し、市民参加型での施設の維持・運営に取り組みます。

(4) 使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1 ★	全蛍光灯の LED 化 約 2 2 0 本	65%	100%	75%	—	—	実施済み	—
2 ★	節電・電力料金見直し等による電気料金削減率 (対 2 0 2 1 年度)	15% 増額	10%	15%	—	—	15%	—
3 ★	ギャラリー壁紙の張り替え	未実施	100%	—	—	—	実施済み	—
4	施設の管理瑕疵に起因する事故件数 0 件	0 件	0 件	0 件	—	—	0 件	—
5	法定点検等の実施率 100%	100%	100%	100%	—	—	100%	—
6	修繕予算の執行率 90%	60%	90%	75%	—	—	90%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	修繕方法 最善策の 模索	R 4 実績	スタッフ間にて協議しました
		R 5 達成指標	利用者ニーズを忠実に対応定点の目視を基本として、毎定点の目視を基本として、毎日違う人員にて観察
		R 5 実績	ホームページにて資材の確保を最優先として協議
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者ニーズを忠実に対応 月 1 回の休館日においてその月にて不備のある所をまとめて修繕
		R 8 実績	—
2 ★	軽微な修繕の即日 対応	R 4 実績	即時対応
		R 5 達成指標	開館時、1 5 時に館内巡回に以上の場合即時対応
		R 5 実績	即日・即時の対応継続
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	上記 1 日 2 回の確認と閉館時に再確認、翌日朝番に引継ぎ連絡し、開館前の修繕に努める
		R 8 実績	—
3	アンケート	R 4 実績	日々確認励行

	ト・ヒヤリング等による施設の使いやすさや快適さの向上確認	R 5 達成指標	ご要望に応える事を第一としていく
		R 5 実績	複数名での確認励行
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	設備備品の老朽化による交換は随時励行していく
		R 8 実績	—
4	管理運営費推移の要因分析・改善	R 4 実績	月次確認
		R 5 達成指標	月中における改善を日々励行
		R 5 実績	月次確認資料を基に半期毎にスタッフ会議の励行
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	専門的な改善業務は即時業者見積発注し、横浜市報告の上、修繕に門題なければ早急に対応
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

当施設の貴重性・重要性を理解し、利用者の安全・安心を確保しながら、効果的・効率的で持続可能性の高い維持管理・施設運営を実現します。

(5) 使命5 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

具体的な取り組み

・施設内の安全対策の徹底やその内容を広く告知し利用者が安心して来館できる対策を実行します。

- ① スタッフによる一日2回の館内共有部分の除菌消毒
- ② ご利用者の利用後ごとの各会場の除菌主毒
- ③ スタッフの勤務前に検温の義務付け
- ④ 掲示物やのぼりを掲示し啓発活動に努める等。

利用者に向けた対応

- ① 3密を避けた利用を促す。
- ② 入館時に神奈川県 LINE コロナお知らせシステムへの登録または名簿への記入をお願いする
- ③ 手指消毒の徹底
- ④ 「咳エチケット」の徹底履行
- ⑤ 定期的な換気をしていただく等

事業イベント開催時

- ① 入退室時の手指消毒・検温の徹底をお願いする。
- ② 座席間隔を取り、換気をこまめに行う。

収入対策

- ① アフターコロナに向け、新たな事業サービスを考え、実行して行きます。
 - ・公演のオンライン配信の撮影代の徴収
 - ・オンライン会議向けのスペースやコンテンツの提供 等

令和5年度 「大倉山記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	28,697,000		28,697,000	28,697,000	0	横浜市より(令和5年度数値)
利用料金収入	9,810,100		9,810,100	10,276,050	465,950	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入	1,744,332		1,744,332	2,449,458	705,126	プラットフォーム事業、ブリザードフラワー教室、花音コンサート等
雑入	3,252,000	0	3,252,000	2,959,931	292,069	
印刷代	72,000		72,000	74,000	2,000	利用者コピー印刷代
自動販売機手数料	550,000		550,000	594,931	44,931	1F、2F設置自販機手数料
駐車場利用料収入			0		0	
その他（ 撮影分 ）	2,630,000		2,630,000	2,291,000	339,000	撮影代金(動画・スチール画有料分)
収入合計	43,503,432	0	43,503,432	44,382,439	879,007	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,689,092	0	22,689,092	22,546,276	79,529	共同事業体(日比谷花壇・西田装美スタッフ)全員分
給与・賃金	18,773,510		18,773,510	19,262,842	489,332	同上
社会保険料	2,651,982		2,651,982	2,096,390	555,592	同上
通勤手当	888,000		888,000	1,082,644	194,644	スタッフ月額通勤費合算値
健康診断費	104,400		104,400	104,400	0	スタッフ受診合算値
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	271,200		271,200	63,287	207,913	
事務費	1,700,976	0	1,700,976	1,783,358	82,382	
旅費	66,000		66,000	185,644	119,644	旅費・交通費
消耗品費	645,880		645,880	506,883	138,997	年間消耗品費総額
会議随い費	24,000		24,000	95,412	71,412	自主事業打ち合わせ費等
印刷製本費	160,000		160,000	188,523	28,523	パンフレット新規変更、イベントスケジュールカラー用
通信費	395,862		395,862	284,681	111,181	電話・FAX通信費
使用料及び賃借料	116,840	0	116,840	116,840	0	
横浜市への支払分	81,840		81,840	81,840	0	自動販売機・目的外使用料
その他	35,000		35,000	35,000	0	
備品購入費			0		0	
図書購入費	13,200		13,200	10,001	3,199	
施設賠償責任保険	82,160		82,160	36,941	45,219	年度初月に支払い分
職員等研修費	22,000		22,000	22,000	0	年2回消防訓練訓練時同時期に遂行
振込手数料	3,000		3,000	3,300	300	銀行振込手数料
リース料	122,034		122,034	226,314	104,280	コピー機・FAX・電話リース合算値
手数料	0		0	58,637	58,637	生花配送手数料(花音コンサート及び季節装飾時利用)
地域協力費	50,000		50,000	48,182	1,818	愛護会・ボランティア活動年間協力費
事業費	1,844,332	0	1,844,332	2,657,743	813,411	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	100,000		100,000	100,000	0	
自主事業費	1,744,332		1,744,332	2,557,743	813,411	自主事業の仕入・経費年間分
管理費	12,065,827	0	12,065,827	11,473,343	592,484	
光熱水費	4,869,715	0	4,869,715	4,007,750	861,965	
電気料金	4,478,400		4,478,400	3,634,257	844,143	時間当たりの契約電力削減により年間料金減額
ガス料金	0		0		0	
水道料金	391,315		391,315	373,493	17,822	
清掃費	3,362,304		3,362,304	3,825,131	462,827	構成企業(西田装美様)使用分
修繕費	1,232,000		1,232,000	617,127	614,873	同上
機械警備費	462,000		462,000	462,000	0	同上
設備保全費	1,530,408	0	1,530,408	2,025,898	495,490	同上
空調衛生設備保守	264,000		264,000	275,000	11,000	同上
消防設備保守	319,000		319,000	319,000	0	同上
電気設備保守	303,138		303,138	319,440	16,302	同上
害虫駆除清掃保守	88,000		88,000	88,000	0	同上
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	556,270		556,270	1,024,458	468,188	同上
共益費	609,400		609,400	535,437	73,963	入金機年間使用料、Web作業費年間分
公租公課	2,264,204	0	2,264,204	2,064,943	199,261	
事業所税			0		0	
消費税	2,264,204		2,264,204	2,063,943	200,261	
印紙税	0		0	1,000	1,000	印紙代
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	2,925,801	0	2,925,801	2,925,801	0	
本部分	2,439,803		2,439,803	2,439,803	0	本部経費
当該施設分	485,998		485,998	485,998	0	同上
二一ズ対応費	13,200		13,200	13,200	0	
支出合計	43,503,432	0	43,503,432	43,464,664	24,519	
差引	0	0	0	917,775	854,488	